



ストーリー1

きらりとひかるデザイン

開拓使時代の建築物のおはなし

ストーリー1

きらりとひかるデザイン 開拓使時代の建築物のおはなし

このストーリー
にまつわる遺産

札幌農学校第2農場

清華亭

札幌市時計台

豊平館

旧永山武四郎邸



明治初期、北海道開拓を行うために設置された行政機関の開拓使。開拓使はホーレス・ケプロンを始めとして多くのお雇い外国人の助言を受けながら初期の北海道開拓を進め、農業や教育、建築様式などに西洋文化の影響を大きく受けました。この時期に建てられた、札幌市時計台、清華亭、札幌農学校第二農場、豊平館、旧永山武四郎邸も西洋の技術を随所に取り入れた建築物です。

ストーリー1

きらりとひかるデザイン
開拓使時代の建築物のおはなし

札幌農学校第2農場



札幌農学校第2農場は、ウィリアム.S. クラーク博士の構想を引き継ぎ、教え子のブルックスらが設計して整備されました。明治10年に建てられた模範家畜房は当時のアメリカ中西部の開拓地で多く採用されていた建築様式「バルーン・フレーム構造」で建てられています。大正元年に建設された緑飼貯蔵庫は道内最古のサイロとも言われています。

ストーリー1

きらりとひかるデザイン 開拓使時代の建築物のおはなし

清華亭



旅行者が行きかうJR札幌駅から徒歩10分ほどのところに開拓使の貴賓接待所として建てられ、明治天皇行幸で休憩所としても使われた清華亭があります。外観は洋風、内部は洋室と和室が並べられた和洋折衷様式となっています。入口の破風飾りには開拓使のシンボルマーク「五稜星」が掲げられています。

ストーリー1

きらりとひかるデザイン
開拓使時代の建築物のおはなし

札幌市時計台



札幌市都心部で多くの観光客が訪れる札幌市時計台。正式名称は「旧札幌農学校演武場」といい、クラーク博士の提言により、1878年（明治11年）に建設された建物です。白い板張りの壁に開拓使のシンボルマーク「五稜星」が掲げられている姿は有名ですが、時計台にはこの五稜星が17個あるそうです。ぜひ探してみてください。1階は展示室になっていて開拓使に関する資料も多数展示されています。

ストーリー1

きらりとひかるデザイン
開拓使時代の建築物のおはなし

豊平館



札幌すすきのの更に南、中島公園の中に、白い板壁にウルトラマリンブルーが映える豪華な建物・豊平館があります。豊平館は開拓使が建てた洋造ホテルで明治政府が建てた唯一のホテル。正面中央から見ると屋根の棟飾りや破風飾りに五稜星があしらわれています。室内では漆喰塗で仕上げられた暖炉のマントルピースなど当時の優れた左官技術がみられます。

ストーリー1

きらりとひかるデザイン
開拓使時代の建築物のおはなし

旧永山武四郎邸



札幌都心から15分ほど歩いた場所、サッポロファクトリーの東側・永山記念公園の中に、旧永山武四郎邸があります。明治10年代に建てられた和洋折衷様式の建物で、札幌駅の北西にある清華亭と外観や部屋の作りが似ています。この建物の北側には、昭和に入り当時の持ち主だった三菱鉱業が建設した2階建ての洋館があります。

ストーリー1

きらりとひかるデザイン

開拓使時代の建築物のおはなし



◇アクセス情報◇

それぞれの建物にはまだまだ多くの物語があります。ぜひ訪れてみてください。

- ▶ 札幌農学校第二農場・・・地下鉄南北線「北18条」下車、徒歩5分

札幌農学校第2農場から清華亭は約20分。

徒歩で北海道大学構内を歩くのも気持ちがいいです。徒歩でも25分ほど。

- ▶ 清華亭・・・地下鉄南北線・東豊線・JR線「さっぽろ」下車、徒歩10分

清華亭から札幌市時計台は約18分。徒歩でも20分ほど。

- ▶ 札幌市時計台・・・地下鉄南北線・東西線・東豊線「大通」下車、市役所側出口から徒歩5分

札幌市時計台から豊平館は約20分。徒歩だと30分ほど。

- ▶ 豊平館・・・地下鉄南北線「中島公園」下車、3番出口から徒歩5分

豊平館から旧永山武四郎邸は約30分。旧永山武四郎邸は札幌市時計台からだと

徒歩でも15分ほど。

- ▶ 旧永山武四郎邸・・・地下鉄東西線「バスセンター前」下車、徒歩10分